

令和6年7月25日大雨災害から1年経過

線状降水帯の影響により記録的な雨が降り、町内各所で大規模な浸水や土砂崩れが発生するなど、町民生活に大きな影響を及ぼした災害から1年。一部復旧した箇所もありますが、今も道路や河川・農地などの復旧に向け、関係者による懸命な作業が進められています。【写真は主な被災箇所】



土砂崩れによる北楯大堰の閉塞（清川地内）



水路復旧完了、斜面工事継続



土砂流入による町道通行止め（肝煎地内）



復旧完了



林道立川線の斜面崩落（狩川地内）



復旧途中

（肝煎地内）

がけ崩れ現場を復旧中



中（肝煎地内・県工事）

壊れた立谷沢川護岸を復旧



被害状況を振り返ると・・・

降水量	24時間265.5mm（7月過去最多）	1時間61mm →いずれも狩川観測所
避難指示	千本杉、片倉、興屋、落合	避難所開設3か所、最大避難者74人
法令適用	災害救助法適用、激甚災害の指定	
人的被害	なし	
住宅被害	半壊3件、準半壊3件、床下浸水41件、一部損壊1件	
被害額（R7.8.15現在）	農林（農地・農林水産施設）3.4億円	土木施設（河川・道路）2.4億円